

おしごとインタビュー

～ 浜通り企業業界研究会参加企業編 ～

発行
キャリア
支援課

株式会社 しろはとファーム

https://www.shirohato.com/FUKUSHIMA_NARAH/

Q1.
会社のアピールポイントは何ですか？

・六次化産業の取り組みを一番考えてやっているのので、軸足は一次、二次、三次のどこかに置きつつ他の部門で仕事をしながらも現場と一緒に収穫したり、実際に自分で採ったおいもを工場加工するところに入ったり、販売するところと一緒に入ったりするなど、おいもを通した思いを届けたいというのを誰か知らない人が販売するのではなくて一本につながってお客様に届けられるということが一番魅力的だと思います。
・社長が「人生一度は日本一」を良く口にされていて、どうせやるなら日本1レベルのことをやろうというもので、チャレンジが多いし、失敗もその分多いけど、失敗しても怒られない会社で、むしろ失敗を怖がってチャレンジしてないと怒られます。

Q2.
仕事内容は何ですか？

・福島と茨城に自社圃場があり、両方の農園部を統括するリーダーをやらせてもらっていて、実際に畑の現場に出るといってもありますが、現場が動けるように1年間の計画を立てて、農具や機械を揃えてなど舞台を整える役割が多いです。他には栽培から離れて地主さんとの話し合いや、土地の拡大のために町さんとの話し合いなど色々なことをやっています。
・宮崎・茨城・福島の三拠点に自社圃場があって宮崎・茨城に工場があって、工場から出来た商品をお客様に届けるのが大阪・東京などの都会近辺、フランチャイズを含めたら全国のあちこちにあります。外販営業部が販売しているサツマイモは全国に届けられていて、日本にあるコンビニエンスストアや外食チェーンなどで食べられる大学芋の国内シェアの6～7割がうちで作られたものです。

Q3.
どのような人と一緒に働きたいですか？

・やりたいことがある人、核となるやりたいこと、その仕事を通して社会に意味を残したいといったやりたいことに対して思いがある人です。



Q4.
採用の際に学生に求めているものは何ですか？

・学生のうちから興味があるところに積極的に足を運ぶことです。インターネットや本で知れることと、実際に現場に行って自分の五感で感じるものは全然違うと思うので、そういう所に自分で飛び込んで行って、色々体感して経験してそれが最終的に思いが変わってくると思うので学生時代にぜひ色々な現場に行ってほしいと思います。

感想

決められている特定の仕事だけではなくて他部門の仕事もやること、失敗をしても怒られずにチャレンジすることが求められていることに驚きました。様々な事業が発展していると伺って、とても楽しそうな雰囲気でありがいを感じそうな仕事であることが伝わってきました。

インタビュー 行政政策学類2年 菅野 理李
食農学類2年 柳沼 空良
(自主学修プログラム南相馬PR班)



(中央)福島しろはとファーム 長井様
(左右)インタビュー